

## 若狭湾ファミリーフェスティバル①海で遊ぼう

### 1. 参加者

募集人数	応募者数	参加決定数	参加者数
200	425	228	247人（日帰り56人を含む）

### 2. 事業内容（概要）

#### ◆ねらい

- ・家族と一緒に活動しながら、海の魅力や面白さを感じる。
- ・波音を聞きながら、夏の若狭湾を感じ、自然の素晴らしさを知る。
- ・海の活動やキャンプなどの自然体験の経験の少ない家族に、その面白さを伝える。

#### ◆期日・期間

平成30年8月25日（土）～8月26日（日）＜1泊2日＞

#### ◆連携機関

後援：福井・岐阜・愛知・滋賀・京都 各府県教育委員会

#### ◆参加者分析

募集案内の配布先は、嶺南地区小学校と学校団体と利用の多い舞鶴市、亀岡市、南丹地小学校と個人として利用の多い高島市の小学校の全児童へ配布を行った。それ以外には「トビーキッズのたんけん隊」の参加申し込み者にも送付した。応募者数が定員に対して大幅に上回った。特にスノーケリングとやさしいスノーケリングに対する希望者が集中したことにより、希望通りに参加できない人も多数みられた。また、宿泊の関係で抽選を行い18名が宿泊することができなくなった。

#### ◆企画のポイント（日程・特色など）

8月25日（土）
10:30 受付
11:10 宿泊説明
11:30 昼食
13:00 開会式
13:10 <b>海の体験活動</b>
海水浴 磯遊び 磯観察
スノーケリング
やさしいスノーケリング
16:30 <b>選択活動</b>
テント泊体験
17:15 夕食・入浴
19:00 おさかな講座
20:00 浜辺のキャンプファイヤー
22:00 就寝

8月26日（日）
7:00 朝のつどい
7:30 朝食・清掃・荷物の移動
9:00 <b>海の体験活動</b>
海水浴 磯遊び 磯観察
スノーケリング
やさしいスノーケリング
<b>選択活動</b>
野外炊事体験（カレー作り）
12:00 解散
※ 11:30～ 昼食（14:00閉店）・・・希望者

「スノーケリング」と「やさしいスノーケリング」は、昨年と同じ様に1日目の「やさしいスノーケリング」の参加者が2日目の「スノーケリング」に参加できる様な流れで行った。昨年度の参加者数を参考に同じぐらいの人数を限定して募集をした。そのため、全員の希望に応えることは出来なかつた。また、今年度は、テント泊体験と野外炊事体験をセットで募集する

のではなく、別々に募集をかけた。そのことで、参加者のニーズに細かく対応する体制を作ることもできた。

◆運営のポイント

スノーケリングは、あわしまマリンパーク顧問の白井先生と名古屋コミュニケーションアート専門学校の学生さんの協力を得て活動を進めた。海での活動のできる昼間は、参加者と共にスノーケリング活動を行い。夜は、昼間の海での活動を振り返る機会として、白井先生のおさかな講座と海の生き物に直接触れることができる水族館も設けた。参加した子供たちには大変好評で、自ら積極的に生き物と触れ合いながら体験を楽しむ子どもたち姿が多く見られた。

◆安全管理のポイント

やさしいスノーケリングは、年長児が入水するため指導者が事前に打ち合わせをとり、安全を確保した。指導にあたる専門職や名古屋コミュニケーションアート専門学校の学生さんの配置や対象者へのフローティングジャケットと着用方法などもしっかり共通理解した。また、常時つどいの広場からの監視体制を整え、各活動の担当者と無線で連絡を取り合う様にした。

3. アンケート結果

(1) アンケート

<参加者>

項目	4	3	2	1
事業全体をとおしてどうでしたか	80%	18%	2%	0%
この事業の運営はどうでしたか	71%	20%	9%	0%
青少年自然の家のスタッフは、どうでしたか	89%	7%	4%	0%
海の活動は、どうでしたか	80%	20%	0%	0%
夜の活動は、どうでしたか	70%	27%	3%	0%
食事や食堂の人はどうでしたか	57%	41%	2%	0%

4 満足 3 やや満足 2 やや不満 1 不満

(2) 参加者の声

- 自由度の高いプログラムで小さい子がいても楽しく過ごせた。
- おさかな講座は、生き物と触れられて楽しかったです。先生が上手に楽しく教えて下さったので、ためになりました。
- 子供は、キャンプファイヤーが初めてだったので印象に残ったようです。
- スノーケリングのとき5才の娘が不安だったが、つきっきりでいてくださったので楽しむことができました。
- 忘れ物をしたら、忘れ物コーナーから貸していただき助かりました。
- お魚などの説明をしてくれた学生さんが詳しく、とてもためになりました。
- スタッフの皆さんが声をかけてくれたので、楽しく過ごせました。
- ライフジャケットを借りたので安心して遊ぶことができました。
- 「大浜」「つどいの広場」が何度探しても地図にもものっていませんでした。集まる場所を教えて欲しい。
- 貴重品のロッカーをもう少し多くあると有り難いです。
- 応募するとき申込みの仕方があまりよくわからなかった。
- プリントに書かれている時間が変わることがあったので、知らせて欲しかった。
- 入浴時間を1時間ほど前倒しして欲しかった。(16時30頃が混んでいた)
- 誰がスタッフなのかがいまいち分からなかった。
- 館内放送を活用した運営が望ましい。
- 全体の地図が最初からあれば、よりスムーズに準備できた。HPの案内図もぼやけて見にくい。
- 扇風機にカバーがついていると安心

## 4. 成果と課題

### (1) 成果

- 用具が無いとできないスノーケリングを専門の指導者がついて体験できたことは、参加にとっては有意義であった。
- テント泊体験や野外炊事体験は、別々にして実施し、担当のスタッフがついて説明や指導をしてもらったので、混乱することなくすすめられた。
- おさかな講座は、海の生き物の知られていない特徴などについてのお話をたくさん聞くことができ、参加者も興味を持って参加することができていた。同時に海の生き物に直接触れる体験コーナーがあり、参加者には貴重な体験になった。
- 2日間とも天気に恵まれ、参加者は時間をかけて海をたっぷり楽しむことができた。

### (2) 課題

- 参加者数を限定したため、スノーケリングの希望者全員が参加できなくて残念な思いをさせてしまった。活動時間を短くして活動回数を増やすなどして、全員が参加できるシスムを考えればよかった。
- テント泊体験では、テントを貸し出す際にテントに入る人数より定員を多めにして、余裕をもってテント泊ができるように配慮が必要であった。
- 海で遊ぶことのみをメインにした事業にするのならば、ライフジャケットを貸し出して、海水浴・磯遊び・磯観察の活動だけにして、各家族がそれぞれ思い思いにのんびりと海を楽しんでもらう事業でもいいと思った。
- 「キャンプファイヤー」と「おさかな講座」の時間を当日入れ替えた。夜の活動は、小子どもの睡眠時間に配慮する必要があると感じた。
- 参加者がスムーズに活動に取り掛かれるように所内の詳しい案内図をしおりに載せたり、所内に大きく掲示することが必要であった。
- 参加者を募集する際に全員が参加でき、活動の種類も多くしないで実施するほうが参加者にも分かりやすいし、スタッフも運営がしやすいと思った。

## 5. 活動の様子

